

平成19年度事業計画

財団法人 千葉市教育振興財団

第1 事業活動方針

市民文化の振興に寄与するため、教育、学術及び文化・文化財に関する各種の事業を行うとともに、生涯学習関連施設の管理運営を行う。

生涯学習センターについては、市民ニーズに基づいた学習活動を総合的に支援していくため、生涯学習情報の収集・提供及び生涯学習相談事業、生涯学習講座・講演会等の開催事業、指導者等養成事業、生涯学習に関する調査及び研究事業、メディア学習事業、生涯学習活動の支援に関する事業及び施設の維持管理業務や施設の貸出等の施設管理業務を行う。

美術館においては、展示事業として春季企画の「鳥居清長—江戸のヴィーナス誕生—」を始めとして、特別企画「シャガール展」などの各種企画展や所蔵作品展を合わせて12本行うとともに、これらの展覧会に関連した講演会等を行う。また教育普及事業では、市民に好評を得ているボランティアによるギャラリートークを継続するとともにワークショップの拡充、小・中学生を対象として行っている鑑賞教育等を行う。

市民ギャラリー・いなげにおいては、好評を得た「美術館収蔵作品展」や新進作家の発表の場でもある「チバ・アートフラッシュ展」を本年度も引き続き行うとともに、制作室・展示室を芸術・文化活動の拠点及び発表の場として貸出しを行うほか、「旧神谷伝兵衛稲毛別荘」等の歴史的建物の公開を行う。

埋蔵文化財調査センターについては、埋蔵文化財発掘調査及び出土品等の収蔵・保管を行うとともに、埋蔵文化財の保護に関する普及啓発を図るため、遺跡発表会や遺跡巡回展等を行い埋蔵文化財の意義並びに保護に関する普及啓発活動を行う。

第2 事業計画の内容

1 千葉市生涯学習センター

(1) 生涯学習事業に関する業務

① 生涯学習に関する情報の収集・提供及び生涯学習相談事業

市民の多種・多様な学習ニーズに対応した生涯学習情報の収集・提供、きめ細やかな生涯学習相談、生涯学習の普及・啓発、生涯学習ボランティアセンターの運営等を行い、市民の学習活動の充実を図る。

事業名称等	内容(講座等)
生涯学習に関する案内情報の整備・提供	1 生涯学習情報の収集・整理・提供 2 生涯学習情報提供システムの運用・管理 3 普及啓発事業 (1) 情報紙の発行 (2) 生涯学習センターホームページの運営 (3) 企画展示

生涯学習関連資料の収集	1 専門情報の収集・整備 2 調査・資料室の運営 3 資料管理システムの運用・管理
生涯学習相談	1 相談員による相談の実施 2 生涯学習相談員の養成
ちば生涯学習ボランティアセンターの運営	1 生涯学習ボランティアの登録 2 生涯学習ボランティアのコーディネートの実施

② 生涯学習に関する講座、講演会等の開催事業

ちばカレッジについては「ちば」の魅力や文化の創造を再発見できる学習とし、また、現代的課題学習については、市民や千葉市を取り巻く状況を踏まえ、社会の要請に応じたプログラムを企画し、いずれも体験学習や創造学習を取り入れた事業を実施する。

事業名称等	内容（講座等）	予定回数
ちばカレッジ	「ちば」に関わる事象を対象に講座を実施する。	
	1 「おゆみ」コース 2 「アジアの風とちば」コース	1 0 1 0
現代的課題学習	少子化時代の家庭教育、環境問題への関心、子どもの科学離れ、高齢者の心身の健康などの現代社会が持つ課題に対応した講座を実施する。	
	1 子育て支援事業（家庭教育講演会、親子で遊ぼう、わらべうたと絵本の会、ちば子ども学講座、PTA・保護者会役員研修、家庭教育学級[新規]）	4 8
	2 青少年育成事業（環境学習講座、子ども科学講座、子どもチャレンジ教室）	1 6
	3 高齢者生きがいづくり学習事業（デジカメピクニック講座、高齢者学習発表会、わかがえり塾）	1 4
4 大学との連携事業[新規]	3	

③ 指導者等養成事業

市内の生涯学習・社会教育団体・グループ等の活動を支援するため、生涯学習施設関係職員やこれら団体・グループ等の指導者に対して、資質の向上、専門的知識や技術の習得に向けた研修を実施する。

事業名称等	内 容 (講座等)	予定回数
指導者の養成	地域の生涯学習活動を支援するために、民間指導者、生涯学習施設職員等を対象に指導者養成講座を開催する。 1 生涯学習指導者研修 (活動に役立つ実践セミナー) 2 生涯学習関係職員研修 (公民館職員研修) 3 派遣研修 (職員)	2 5 随時
学習ボランティア活動の支援	当センターをはじめ、市内生涯学習関連施設で活動するボランティアの養成等を行うとともに、「ちば生涯学習ボランティアセンター」登録者に対して研修の場を提供する。 1 施設ボランティア (まなびサポーター) 養成研修 2 生涯学習コーディネーター養成研修 3 生涯学習ボランティア研修 (基礎・分野別) 4 学習ボランティア活動支援 (デジカメ相談会、パソコン相談会)	7 5 5 7 2
研修生等の受入	教職員、市職員などの職員研修及び大学生、中学生の職場体験学習の場を提供する。 1 研修 (教職員・市職員) 2 体験実習 (大学生・中学生)	随時 随時

④ 生涯学習に関する調査及び研究事業

講座の企画・立案を検討するための基礎資料として年間事業報告書の作成等を実施する。

事業名称等	内 容 (講座等)
年間事業報告書の作成	年1回、生涯学習センターの講座等の前年度実績などを掲載した年間事業報告書を作成し、関係機関へ配布する。 作成部数 500部
その他生涯学習に関する調査研究	「全年代にわたる市民意識調査」[新規]を実施し、多様化・高度化する学習ニーズを的確に把握し、当センターの機能の充実を図る。

⑤ メディア学習に関する事業

市民ニーズの高いパソコン学習講座、視聴覚事業、映画鑑賞会の開催、マルチメディアブースの運営等を行うとともに、新しい時代の学習活動を積極的に取り入れた学習講座の開設と視聴覚媒体やコンピュータに関する学習教材の整備を行う。

事業名称等	内 容 (講座等)	予定回数
パソコン学習講座	市民の学習ニーズに対応して、講座の難易度を初級・中級・上級の習熟度別クラスに分けて実施する。 1 初級パソコン講座	

	<ul style="list-style-type: none"> (1) 初級者向け講座 (2) 文字入力・マウス操作講座 (3) 子ども向け講座 (4) 未就学児と保護者のための講座 2 中級パソコン講座 <ul style="list-style-type: none"> (1) ワード講座 (2) 年賀状作成講座 (3) デジカメ活用講座 (4) パソコン絵画講座 3 上級パソコン講座 <ul style="list-style-type: none"> (1) ホームページ作成講座 (2) 画像加工講座 (3) エクセル講座 (4) パワーポイント講座 4 市民自主企画講座（公募） 5 ボランティア・NPO等による講座 6 出前パソコン講座 	<ul style="list-style-type: none"> 1 6 3 2 8 8 2 4 8 5 4 1 8 2 4 1 8 1 8 1 2 2 2 2 1 3
視聴覚事業の実施	<p>1 6mm映画、ビデオ等学習教材を収集・貸出するとともに、操作講習会を実施する。また、所有する名画の上映会を当センターに限らず出前方式で実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 視聴覚ライブラリーの運営（1 6mmフィルム・ビデオソフト等の教材・機材を学校や地域への貸出） 2 視聴覚ライブラリーの収集・管理（1 6mmフィルム・ビデオソフト等の教材・機材の計画的な収集及び管理） 3 1 6mm映写機操作講習会 4 視聴覚ライブラリー等を活用した学習事業の企画・実施 <ul style="list-style-type: none"> (1) 水曜名画座 (2) クラシック名画座 (3) 親子アニメ (4) 夜間上映会[新規] (5) 地域交流幼児向け上映会 (6) 出前上映会 	<ul style="list-style-type: none"> 通年 通年 1 2 4 2 4 2 4 4 4 3
マルチメディアスペースの運営	<p>子どもから高齢者までが体験できるブースを活用し、新しい時代のマルチメディア体験の場とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 マルチメディアブースの提供 	<ul style="list-style-type: none"> 通年

	インターネット・CD-ROM 2 AVブースの提供 VHSソフト、DVDソフト	通年
その他のメディア学習事業	デジタル動画の加工編集に必要な知識や技術を身につける学習を実施するとともに、学習活動を映像として記録するボランティアの養成を図る。 1 ノンリニア編集教室 2 映像記録ボランティア活動支援（映像記録の作成等）	4 通年

⑥ 生涯学習活動の支援に関する事業

市民の自主企画講座への支援、ボランティアによる指導の支援など市民の自主的な活動を支援するとともに、他の生涯学習関係機関や施設で実施していない文化に関する学習機会を提供する。

事業名称等	内 容（講座等）	予定回数
市民の学習活動への支援	市民が自主的・主体的に学ぶための支援を行う。 1 市民の自主的学習活動に対する指導・助言・援助 市民自主企画講座（公募）	27
	2 市民楽団養成講座	17
学習成果の発表の機会の確保	市民の活発な学習活動を自己完結させることなく、更なる学習の発展を図るとともに、生涯学習の啓発を図るため、学習成果の発表の場を提供する。 1 まなびフェスタの実施（12月8・9日） 2 その他の発表機会の提供 （高校演劇発表会、ボランティア等による学習成果の発表、市民向けコンサート）	1 30

（2） 施設管理業務

① 開館日・開館時間

次の休館日を除く通年開館とし、開館時間は9時～21時とする。

・毎月第4月曜日（平成17年度までは毎月曜日）

・年末年始（12月29日～1月3日）

② 施設貸出業務

生涯学習センター各施設及び附属設備の利用受付・貸出を行うとともに、次ページの利用料金を徴収する。また、施設の入場・退場に関する手続きを適正に行うとともに、附属設備の利用者に対し、利用方法の説明、指導等のサポートを行う。

ア 施設利用時間帯区分・利用料金

区 分	条例上の上限 (1日につき)	利 用 時 間 帯 区 分			
		午前 9:00～ 12:00	午後 13:00～ 17:00	夜間 18:00～ 21:00	全日 9:00～ 21:00
ホ ー ル (平日)	50,800円	12,750円	17,670円	12,750円	43,000円
(土日祝日)	50,800円	13,250円	24,300円	13,250円	50,800円

区 分	条例上の上限 (1日につき)	利 用 時 間 帯 区 分					
		午 前 9:00～ 12:00	午後A 12:30～ 15:00	午後B 15:30～ 18:00	夜 間 18:30～ 21:00	全 日 9:00～ 21:00	
研 修 室	研修室1・2・3	8,680円	2,280円	2,130円	2,130円	2,130円	8,500円
	大 研 修 室	24,760円	6,460円	6,100円	6,100円	6,100円	24,500円
	食文化研修室	11,990円	3,130円	2,950円	2,950円	2,950円	11,500円
	工 芸 研 修 室	10,590円	2,770円	2,600円	2,600円	2,600円	10,500円
	小 会 議 室	5,480円	1,440円	1,340円	1,340円	1,340円	5,000円
	特 別 会 議 室	23,920円	4,890円	4,080円	4,080円	4,080円	17,000円
	和 室	8,800円	2,300円	2,150円	2,150円	2,150円	8,500円
マ ル チ メ デ ィ ア ス ペ ー ス	メディアエッグ	21,110円	5,510円	5,100円	5,100円	5,100円	20,500円
	パソコン学習室	22,170円	5,790円	5,450円	5,450円	5,450円	22,000円
	スタジオ	13,190円	3,440円	3,230円	3,230円	3,230円	13,000円
	A V 調 整 室	9,730円	2,550円	2,380円	2,380円	2,380円	9,500円
	映像音声加工編集ブース	3,120円	ブース時間貸し・10か所(1時間あたり160円)				
	アナウンスブース	1,240円	330円	300円	300円	300円	1,200円
	デジタル音楽室1・2	960円	260円	230円	230円	230円	900円
	音 楽 ス タ ジ オ	12,890円	3,370円	3,170円	3,170円	3,170円	12,500円

イ 附属設備利用料金

区 分	品 目	単 位	金 額 (施設の利用時間帯 区分ごとに)	備 考
舞	ホール照明セット(ボーダーライト、アッパーホリゾン ライト、フロントサイドスポットライト、シーリングス ポットライト)	1式	2,600円	

台 設 備	ホール音響セット	1 式	3,150 円	
	はね返りスピーカー	1 台	510 円	
	演台及び花台	1 式	510 円	司会台を含む
	ホール用デッキセット (DVD、CD、MD、カセット)	1 式	2,200 円	
	幕板付会議机	1 台	200 円	
	椅子	1 本	50 円	折りたたみ、 スタッキング
	コントラバス用椅子	1 本	100 円	
	ピアノ椅子	1 本	300 円	
	指揮者用譜面台	1 台	150 円	
	演奏者用譜面台	1 台	50 円	
	指揮台	1 台	300 円	
	山台 (平台)	1 式	5,760 円	
	プログラムスタンド	1 台	100 円	
	映 像 設 備	ビデオプロジェクター、スライドプロジェクター、OH P、書画カメラ	1 台	1,250 円
大型プロジェクター		1 台	1,880 円	マイクセット
スクリーン		1 式	830 円	
AVワゴン (ビデオ、テレビ)		1 式	1,570 円	
16ミリ映画フィルムコンバーター		1 台	1,780 円	
音 響 設 備	有線マイク・マイクスタンドセット	1 式	720 円	床置型、卓上型
	ワイヤレスマイクセット	1 式	1,050 円	ハンド型、 タイピン型
	デッキセット (CD、MD、カセット)	1 式	1,680 円	
	ダブルカセットデッキ (CD、MD、カセット)	1 式	1,050 円	
	移動用音響調整卓	1 式	2,610 円	
	周辺機器	1 台	1,250 円	
楽 器	国産フルコンピアノ	1 台	6,300 円	
	国産グランドピアノ	1 台	2,100 円	
	楽器・アンプセット (ドラムス、シンセサイザー、ポー カルアンプ、ギターアンプ)	1 式	1,570 円	
そ の 他	電子白板	1 台	420 円	
	展示用パネル、白板、掲示板	1 台	100 円	移動用

ウ 利用カードによる施設予約受付業務

- (ア) 利用カードにより、施設予約やマルチメディア体験ブース利用時の申請が簡略化される。
- (イ) センター施設の予約状況をインターネット上で確認できる。

エ 減免基準及び減免額

- (ア) 障害者及び障害者団体が使用する場合は、利用料金の50%相当額を減額する。
- (イ) 空き施設の利用効率を高めるため、以下の場合には利用料金の30%相当額を減額する。
 - a ホール利用者が利用当日前1か月以内に練習のみに使用する場合
 - b ホール、映像音声加工ブース、アナウンスブース、デジタル音楽室を除く空き施設を直前(当日～1週間前)に申し込み使用する場合

③ 駐車場使用料の徴収・納入業務

駐車場の使用者から、使用料を徴収し、翌日、教育委員会の指定する金融機関に納入する。

④ その他業務

- ア 施設利用者の利便性及び安全性に十分配慮した接客等を行う。
- イ 施設利用促進のための広報活動を、積極的かつ効果的に行う。
- ウ 各種問い合わせや見学者への対応など、施設利用者の円滑な活動のための必要な支援を行う。
- エ その他、急病や災害時には、市や医療機関、関係機関と協力し、的確に対応を図る。

(3) 維持管理業務

建築物保守管理業務、建築設備保守管理業務、清掃業務、警備業務、植栽維持管理業務、敷地内施設等管理業務、衛生管理業務、備品等保守管理業務その他の業務を行う。

(4) 自主事業

① 自主講座・イベントの企画・誘致業務

アトリウムガーデンを活用してボランティア等による自主事業を実施し市民が生涯学習を通じて交流を図れる憩いの場とする。また、科学館で活動するボランティアの基礎講座を実施する。

事業名称等	内容(講座等)	予定回数
「たなばたかざり」を作ろう	子どもが製作した七夕にちなんだ短冊に願いを書き、アトリウムガーデンのささ竹に展示する。	1
科学館ボランティア基礎講座	科学館で活動するボランティアが生涯学習及びボランティアの基礎を習得する。	12

② その他業務

飲用自動販売機設置

2階・3階に各1台設置

2 千葉市美術館

美術に関する市民の知識の向上を図るとともに、市民に親しまれる美術館を目ざし、本年度は、企画展6本・所蔵作品展6本を開催する。また、教育普及事業として学芸員とボランティアスタッフの連携により幅広い事業活動を展開するほか、展覧会開催中における講演会や子ども向け関連イベント等を行い、美術に関心を持つ人々の底辺拡大を図る。その他美術品収集、保存、調査研究事業等もあわせて行う。

(1) 展示事業

特別企画として、「シャガール展」を開催するほか、季節毎の企画展（[春季] 鳥居清長展、[夏季] 都市のフランス 自然のイギリス、[秋季] 文承根・八木正展、[冬季] 日本の版画Ⅴ）と、毎年実施している市民展（第39回千葉市民美術展覧会）の6本と美術館所蔵作品展を6本、計12本の展覧会を実施する。

① [春季企画]

企画展名	鳥居清長—江戸のヴィーナス誕生—
期 間	平成19年4月28日（土）～6月10日（日） 41日間
主 催	千葉市美術館
協 力	日本航空
内 容	江戸時代、天明期（1781-89）を代表する浮世絵師、鳥居清長（とりいきよなが/1752-1815）の作品の展覧会。江戸名所を背景に描かれた長身ののびやかな美人像は天明のヴィーナスともよばれ、喜多川歌麿とともに浮世絵美人画の絶頂期を形成した。多くの浮世絵ファンに望まれながら、作品のほとんどが海外美術館に所蔵されていることから、いままで一度も行われていない、清長の総合的で大規模な展覧会。

② [特別企画]

企画展名	シャガール展
期 間	平成19年6月16日（土）～7月29日（日） 43日間
主 催	千葉市美術館
巡 回 先	宇都宮美術館・三重県立美術館
内 容	20世紀美術の巨匠として一般にも親しまれているマルク・シャガールの作品の展覧会。アメリカナショナルギャラリーなど海外美術館の所蔵作品を交え、激動の時代を生きた画家のあゆみを紹介。

③ [夏休み企画]

企画展名	都市のフランス 自然のイギリス —18・19世紀絵画と挿絵本の世界—
期 間	平成19年8月7日（火）～9月17日（月） 41日間
主 催	千葉市美術館・美術館連絡協議会

巡回先	川越市立美術館・群馬県立館林美術館
内容	ヨーロッパが市民社会を迎えた時代を「都市のフランス」「自然のイギリス」という2つのキーワードでとらえ、栃木県立美術館の代表的な西洋絵画と豊かな版画コレクションによりたどる。

④ [秋季企画]

企画展名	文承根・八木正展
期間	平成19年9月23日(日)～11月4日(日) 42日間
主催	千葉県美術館・京都国立近代美術館
巡回先	京都国立近代美術館
内容	その才能を高く評価されながら1980年代前半に早世した二人の美術家、文承根(ぶんしょうこん/1947-82)と八木正(1956-83)の遺作展。70年代から80年代初頭の日本現代美術の転換期に、多大の可能性を含んだ質の高い作品を遺した2人の美術家の業績を、美術史の流れに沿って再評価を試みようとする最初の展覧会

⑤ [冬季企画]

企画展名	日本の版画 V 1941-1950
期間	平成20年1月12日(土)～3月2日(日) 50日間
主催	千葉県美術館
内容	昭和16年から25年頃までの日本版画を集め、自由な表現を封じられた戦時中から、現代版画の清新な萌芽を見せる戦後まもない時期にかけての作品を紹介。

⑥ 市民展

企画展名	第39回千葉市民美術展覧会
期間	平成20年3月8日(土)～3月28日(金) 21日間
主催	千葉市美術協会・千葉市文化連盟・千葉市教育委員会・千葉市美術館
内容	市民から公募した作品及び千葉市美術協会会員の作品約1,000点を7部門に分けて展示する。

⑦ 所蔵作品展 I

所蔵作品展名	第1部 浮世絵黄金期への道 第2部 郷土の芸術家
期間	平成19年4月1日(日)～4月22日(日) 21日間
内容	(第1部) 鳥居清長の大規模な企画展が開かれるにあたり、その予告編とも言うべき所蔵作品展。鳥居清長誕生以前までの浮世絵の流れをたどる。菱川師宣から、鈴木春信、勝川春章など、貴重な江戸時代前期の版画、肉筆画、版本約130点を一堂に展示。 (第2部) 千葉ゆかりの芸術家たちの作品のなかから、書、陶芸、油彩画、素描

	などを紹介。
--	--------

⑧ 所蔵作品展Ⅱ

所蔵作品展名	寄贈作品による 近代日本画展—楠原コレクション、島コレクションを中心に—
期 間	平成19年6月16日（土）～7月29日（日） 43日間
内 容	楠原豊松氏より寄贈された作品の中から、近代日本画を展示。他の寄贈コレクションとあわせて紹介し、顕彰する。

⑨ 所蔵作品展Ⅲ

所蔵作品展名	若沖とその時代
期 間	平成19年8月7日（火）～9月17日（月） 41日間
内 容	江戸時代中期の京都で活躍した伊藤若沖（1716～1800）。独特の形態感覚は現代にも通じる美意識で、近年若沖ブームが起きている。若沖の出現と関連する南蘋（なんび）派の作品、同時代の曾我蕭白・円山応挙・長沢芦雪らの作品、若沖以後の花鳥画の作品（岡本秋暉など）を摘水軒記念文化振興財団等からの寄託品、所蔵品によって紹介。

⑩ 所蔵作品展Ⅳ

所蔵作品展名	1970年代の美術 —文承根・八木正展理解のために—
期 間	平成19年9月23日（日）～11月4日（日） 42日間
内 容	文承根・八木正展と同時期に開催される所蔵作品展。彼らの活躍と同じ時代の美術の動向を、所蔵作品で紹介。

⑪ 所蔵作品展Ⅴ

所蔵作品展名	第1部 千葉市科学館開館記念 星をさがして —宇宙とアートの意外な関係— 第2部 逝きし芸術家を偲んで
期 間	平成19年 11月11日（日）～平成20年1月6日（日） 50日間
内 容	（第1部）千葉市美術館のすぐ近くに、プラネタリウムのある千葉市科学館がオープンする。同館の開館記念協賛展として、星に関連する作品を展示。 （第2部）当館の所蔵作品の中から、近年物故した現代を代表するアーティストたちの作品を紹介、あわせてその業績を回顧する。

⑫ 所蔵作品展Ⅵ

所蔵作品展名	芳年と芳幾の新聞錦絵 —東京日日新聞と郵便報知新聞全作品—
期 間	平成20年1月12日（土）～3月2日（日） 50日間
内 容	市内コレクターである小畑護氏より寄託された幕末・明治期の錦絵新聞を展示する。

(2) 教育普及事業

① 展覧会関連の各種講座やギャラリートークなど

講座名等	会場	対象来館者(人)	時期
「鳥居清長展」 清長土曜寄席	展示会場	200	会期中2回
「鳥居清長展」 文楽公演	展示会場	100	会期中1回
「鳥居清長展」 特別講演会	美術館講堂	100	会期中1回
「鳥居清長展」 清長日曜講座	美術館講堂	200	会期中2回
「鳥居清長展」 学芸員スライドレクチャー	美術館講堂	320	会期中4回
「シャガール展」 講演会	美術館講堂	150	会期中1回
「シャガール展」 映画上映会	美術館講堂	200	会期中2回
「シャガール展」 コンサート	美術館講堂	150	会期中1回
「フランス・イギリス展」 講演会	美術館講堂	100	会期中1回
「文・八木展」 シンポジウム	美術館講堂	100	会期中1回
「文・八木展」 講演会	美術館講堂	100	会期中1回
「逝きし芸術家」 講演会	美術館講堂	80	会期中1回
「日本の版画」 講演会	美術館講堂	80	会期中1回
ボランティアによる各展覧会定期ギャラリートーク	展示会場	800	会期中週1回
ボランティアによる各展覧会不定期ギャラリートーク	展示会場	1,000	未定
学芸員による各展覧会ギャラリートーク	展示会場	200	会期中2回

② ボランティアスタッフとの協働

ボランティアスタッフ32人による、上記の定期又は不定期、特別ギャラリートークを実施する。また、前年度に引き続き、小・中・特別支援学校鑑賞教育と学校団体鑑賞プログラムにおける鑑賞リーダーや、各種ワークショップへの協力を依頼するなど、幅広い活動を実施する。

③ 学校との連携事業

- ア 小・中・特別支援学校鑑賞教育推進事業
- イ 小・中・特別支援学校団体鑑賞プログラム（団体での来館者に対応）
- ウ 中学生の職場体験学習（館内施設の見学、展示・撤去作業等の体験）
- エ 千葉市図工・美術担当教諭鑑賞1日研修事業
- オ 千葉市教育研究会美術館活用グループとの連携（美術館での月例研究会の開催、及びワークショップ等の事業連携開催）

④ 「千葉アートネットワーク・プロジェクト」(アウトリーチプログラム)

市民の芸術文化育成と、地域の活性化を目的として、千葉大学や地域NPOと連携し、市内外の若手芸術家を核に据えて事業を展開している「千葉アートネットワーク・プロジェクト(通称Wi-CAN)」を実施する。

その活動の一環として、美術館内に多目的に利用できるサテライト・スポットを設置し、外と内をつなぐ拠点として活用する。そこを拠点にして、千葉大学や他の美術館・博物館などとはもとより、その他の大学や地域NPO、商店街・町内会、病院・福祉施設など様々な機関・団体と積極的に連携して事業を展開する。

⑤ 博物館実習

大学で博物館学芸員の資格を取得する学生を対象として、博物館実習を実施する。

(年間2グループ24人。各グループ延べ6日)

(3) 収集事業

千葉市市民局と協議・連携し、すぐれた美術品の収集に努め、より充実したコレクションの形成を図る。

(4) 保存事業

収集作品の性質・現状を十分考慮し、管理には細心の注意を払い、必要なものに修復を施し、保存に万全を期す。

(5) 調査研究事業

調査研究の成果は、研究紀要等をはじめとする出版物をもって公表し、市民へ情報サービスとして提供していく。

(6) 施設管理事業

市民ギャラリー・講堂・講座室を団体等へ貸し出し、さや堂ホールにおいては、企画展等の関連コンサートなどを開催するほか、貸しホールとしても積極的に活用を図る。また、引き続き、図書室の市民利用の促進を図り、美術全般への関心を促す。

(7) 自主事業

市民芸術文化の拠点としての美術館の設置目的を果たすため、受託事業を補完する意味での自主事業の企画は、きわめて重要であるとの考えに基づき、美術などの芸術文化に親しんでもらうために、講座等多様なイベントを実施する。

講座名等	会場	対象来館者 (人)	時期
市民美術講座	美術館講堂	400	年間10回
学芸員出前講座	ことぶき大学・他	150	年間4～6回
「鳥居清長展」 常磐津コンサート	美術館講堂	150	会期中1回
「鳥居清長展」 シンポジウム・発表会	美術館講堂	150	会期中1回
「フランス・イギリス展」 ギャラリークルーズ	展示会場・他	15人×2	会期中2回
「フランス・イギリス展」 ファミリープログラム	展示会場	10組×2	会期中2回
「フランス・イギリス展」 ワークショップ	会場未定	内容未定	会期中1回
「日本の版画」 ワークショップ	会場未定	内容未定	会期中1回

3 千葉市民ギャラリー・いなげ

各種の展覧会を開催するとともに、千葉市における美術を中心とした芸術活動の一拠点として、多くの市民の利用促進を図る。また、歴史的建物である「旧神谷伝兵衛稲毛別荘」や「千葉市ゆかりの家・いなげ」を広く市民等に公開する。

(1) 展示事業

展示事業名	「チバ・アートフラッシュ'07」
期間	平成19年11月6日(火)～11月18日(日)
内容	新しい表現を模索し挑戦する千葉市出身、あるいは千葉市にゆかりのあるフレッシュな若手美術作家の作品を展示する。

展示事業名	「稲垣知雄展」
期間	平成20年2月5日(火)～2月17日(日)
内容	戦前から戦後にかけて、多彩な風景や花を描いた木版画家である稲垣知雄の作品を展示する。

(2) 施設活用事業

制作室・展示室を美術等の芸術・文化活動の拠点及び発表の場として各種団体等へ貸し出しを行う。また、4月より展示室の開館時間を17時15分までとする。

(3) 歴史的建物「旧神谷伝兵衛稲毛別荘」「千葉市ゆかりの家・いなげ」公開管理事業

稲毛の歴史・文化の理解や関心を深めるために、国の登録文化財である「旧神谷伝兵衛稲毛別荘」や「千葉市ゆかりの家・いなげ」の歴史的建物を広く市民等に公開する。

4 千葉市埋蔵文化財調査センター

埋蔵文化財調査センターでは、土地の開発等によって失われつつある埋蔵文化財を記録として後世に伝えるため、文化財の適正な保護と効率的な調査を目指し、調査体制の更なる整備・強化を図るとともに、遺跡発表会や現地説明会、調査センター内での展示・説明等を通して、埋蔵文化財の意義ならびに保護に関する普及啓発活動を行う。

(1) 受託事業

① 埋蔵文化財発掘調査事業

埋蔵文化財発掘調査事業は、埋蔵文化財を記録として保存するため、千葉県教育委員会及び千葉市教育委員会の指導のもとに発掘調査、整理・報告書刊行を行う。

番号	事業名	委託者	遺跡		調査内容
			名称	種別	
1	千葉市公共事業等に伴う整理事業	千葉市	餅ヶ崎遺跡、 房地遺跡・房地 古墳、台門貝塚	旧石器時代ほか	餅ヶ崎遺跡は基礎整理、 房地遺跡他は整理・報告 書刊行
2	重要遺跡発掘調査事業	千葉市	園生貝塚	縄文時代	確認調査・整理報告書刊 行
3	市内遺跡発掘調査事業 (国庫補助事業)	千葉市	市内全域		確認・本調査 12,000㎡
4	市内遺跡再整理事業 (国庫補助事業)	千葉市	市内全域		既報告資料の再整理
5	開発事前調査事業	千葉市	市内全域		突発的に発生した工事等 に対応 確認・本調査 5,000㎡
6	土気東土地区画整理事業に伴う発掘事業	土気東土地区 画整理組合	土気東遺跡群	旧石器時代～平 安時代	確認・本調査 35,350㎡
7	ゴルフ場造成事業に伴う発掘事業	和泉総合開発 株式会社	和泉町遺跡群	縄文時代～平安 時代	確認・本調査 21,000㎡
8	宅地開発に伴う整理事業	株式会社拓匠 開発	長作城山遺跡	縄文時代、古墳時 代、中世	平成16年度調査資料の整 理・報告書刊行

② 文化財普及事業及び収蔵保管事業

遺跡発表会・現地説明会・遺跡巡回展・センター展示室の公開、学校等への資料貸出を行い、文化財に関する理解を深め、保護思想を培うとともに、発掘調査で得られた遺物や記録類の散逸や損壊を防ぎ、後世の活用に備えるための収蔵保管を行う。

ア 遺跡発表会等

(ア) 千葉市遺跡発表会

期 日 平成20年3月上旬 予定
場 所 千葉市生涯学習センター
内 容 平成19年度に調査した遺跡等について、調査成果を広く市民に公開する。

(イ) 出土遺物巡回展「房総発掘ものがたり」 ((財)千葉県教育振興財団他とともに主催)

展示期間 平成19年7月14日(土)～平成20年3月2日(日)
場 所 千葉県立房総のむら、千葉県立関宿博物館、八千代市立郷土博物館、芝山町立芝山古墳・はにわ博物館、千葉県立安房博物館、千葉県立中央博物館
内 容 県内各遺跡から出土した考古資料を、広く県民に公開するため、県内6か所の博物館に巡回展示し、最終展示施設である千葉県立中央博物館において、展示遺跡を中心とした調査・研究成果の発表会を期間中に1回実施する。(平成20年1月下旬を予定)

(ウ) 遺跡現地説明会

内 容 郷土の歴史と埋蔵文化財保護の重要性を広く理解してもらうため、発掘中の遺跡の現地説明会を行う。

(エ) 遺跡巡回展

期 間 平成19年9月から12月
場 所 地区コミュニティセンター及び市内公共施設
内 容 発掘調査が完了した遺跡及び遺物を通して、市民に広く地域の歴史を理解してもらうため、出土品等の展示を行う。

イ 学校・生涯学習関連施設との連携

(ア) 貸出事業 「見て、触れて、みんなの古代体験」

内 容 埋蔵文化財資料に直に触れる機会を通して埋蔵文化財への理解を深めてもらうため、学校及び生涯学習関連施設等へ、整理の終了した土器や石器等の遺物の貸し出しを行う。

(イ) 出前授業

内 容 埋蔵文化財に関する学生・市民の興味及び保護思想を喚起するため、職員が学校及び生涯学習関連施設等に出向き、「勾玉作り」・「火起こし」の体験指導や講演を行う。

ウ 展示室の公開

時 間 午前9時から午後5時15分まで(年末・年始・祝祭日を除く)

内 容 速報コーナー資料の展示替、展示説明

エ 資料の収集及び保管

発掘調査の完了した調査資料及び出土文化財等をセンター資料として整理・収納・管理し、関連資料の収集に努めて今後の活用に備えるとともに、文化遺産としての恒久的な保管をする。

③ 千葉市埋蔵文化財調査センター管理運営事業

ア 施設維持管理

施設の清掃、小破修繕など施設全般の維持管理を行う。